

応援を受けながら校区内を疾走

## 相野谷中学校が駅伝大会を実施

相野谷中学校は2月6日、桐原地区から高岡地区までをコースとした駅伝大会を行いました。

これは、生徒同士の絆や地域の人たちとの親睦を深めるとともに、冬の寒さに打ち勝つ体力づくりの一環として毎年行っているものです。

生徒たちは3チームに分かれ、上桐原バス停を出発し、阪松原生活改善センター、平尾井高齢者生産活動センター、相野谷小学校を経由したのち、町民グラウンドバス停付近を折り返し、相野谷中学校に戻るまでの5区間、総距離約9.2kmのコースを完走しました。

生徒たちは、沿道やチェックポイントで、保護者や地域の人たちの声援を受け、それに応えるように元気に走っていました。



声援を受けながら走る生徒

Town topics  
2 / 6

いざという時に備えた地域力の向上

## 防災・減災ワークショップを開催

内閣官房国土強靱化推進室と町は2月11日、まなびの郷で「国土強靱化に向けた防災・減災ワークショップ」を開催しました。

これは、同推進室が全国で開催しているもので、大規模自然災害に備え、人命を守り、被害を最小限に抑える「強靱な地域づくり」の推進を目的としています。

第1部では、認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンの松本健一氏が「支援の現場から見た課題と備え」をテーマに講演を行い、第2部では、参加した約150名が13のグループに分かれ、支援がすぐに来ない状況を想定し、生活の中で「止まりそうなこと」や「困りそうなこと」を洗い出しました。

水や食料の確保などの課題が挙げられ、地域で支え合う仕組みの大切さについて活発な意見交換が行われていました。



グループごとに議論を行う参加者

Town topics  
2 / 11

身近な国際交流とコミュニケーションを学ぶ

## パクンマクンを招き文化講演会

町文化協会は2月8日、まなびの郷でお笑い芸人のパクンマクンを講師に招き、「笑劇的国際コミュニケーション力」をテーマに文化講演会を開催しました。

2人は自己紹介の後、来場者（約430名）を席の前で2人1組になることを提案。握手をしたあと、名前や家族などを伝え合い、コミュニケーションを取るよう促しました。

パクン氏は「情報収集としても人から聞くことで内容が心に残る。スキルアップのためにもコミュニケーションはとても大切。海外に行かなくても、今は多くの外国人観光客が日本を訪れています。ぜひ声をかけて、国際的なコミュニケーションを取ってほしい」と話していました。



講演を行ったお笑い芸人の「パクンマクン」

Town topics  
2 / 8



02



01



06



05



04



03

インクルーシブ複合遊具が完成

## 深田公園がリニューアルオープン!!

町は1月26日、深田公園で整備を進めてきたインクルーシブ複合遊具の完成を祝い、完成式典を行いました。

これは、昨年度に子育て世帯を対象に実施したアンケート調査で多く寄せられた遊具設置の要望を踏まえ、年齢や体力、障がいの有無にかかわらず、すべての子どもと一緒に遊べるインクルーシブ複合遊具の完成を記念し、行われたものです。

式典には、地元住民をはじめ、相野谷小学校の児童や相野谷保育所の園児が参加し、完成を祝いました。新たな遊具は町の特産品であるマイヤーレモンをイメージしたデザインで、「マイヤーレモンアドベンチャー」と名付けられました。

式典終了後には、児童や園児たちが新しくなった遊具で楽しそうに遊ぶ姿が見られました。



07

01. インクルーシブ複合遊具「マイヤーレモンアドベンチャー」。02. 関係者のみなさんでテープカット。03. 式典に参加した児童や園児にお菓子の配布。04. 行列ができたすべり台。05・06・07. 新しくなった遊具で遊ぶ児童や園児たち。

Town topics  
1 / 26

人材不足の課題解決に向けて

## 合同就職説明会を開催

町商工会は1月18日と19日、まなびの郷で「紀宝町合同就職説明会」を開催しました。

これは少子化などの影響により、人材が不足し、採用が困難となっている町内企業などの課題に対応するため行ったもので、町内および地域の公共交通を担う17社が参加しました。会場では、各企業が自社の魅力や業務内容、福利厚生などをていねいに説明していました。

説明会には66名が訪れ、参加者たちは、企業の説明を熱心に聞き、時折質問を投げかけるなど、就職活動に取り組んでいました。



熱心に説明を聞く来場者

Town topics  
1 / 18・19